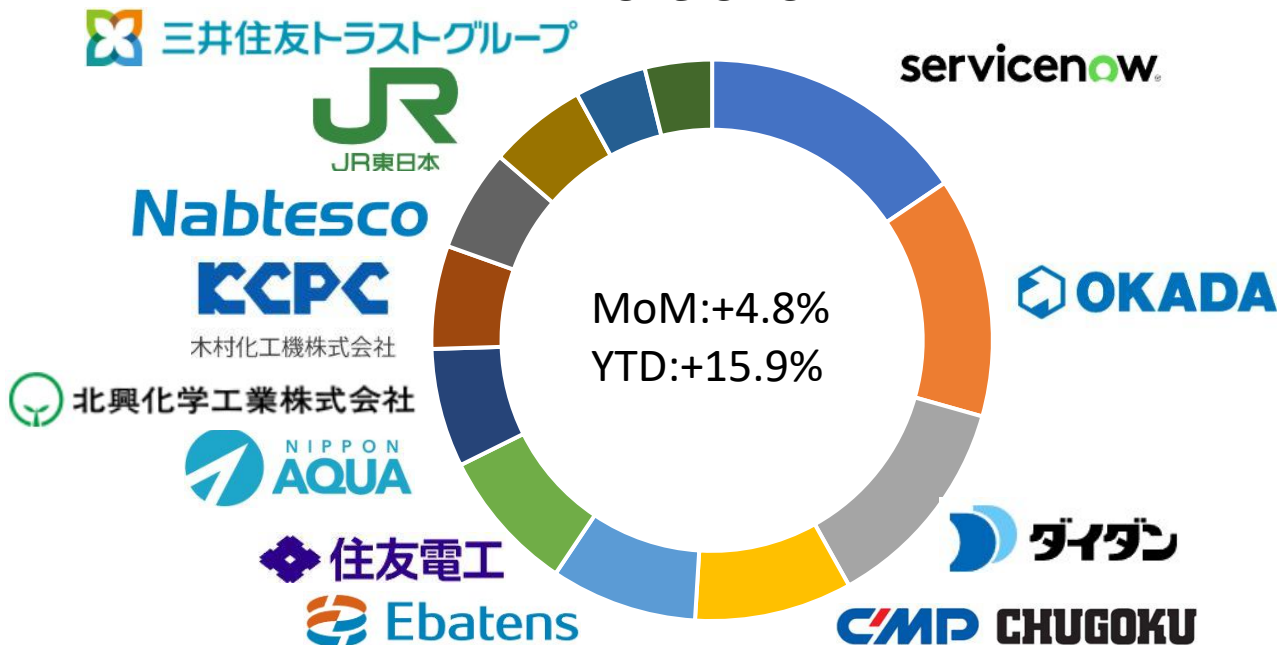




Portfolio



運用指標

組入銘柄数	配当利回り	キャッシュ比率	設定来分配金	設定来運用成績
12	2.4%	0.2%	0円	1,980.60

※株主優待目的保有除く

※成長ないから分配なし

運用コメント(1/2)

とんでもない一か月が終わりました。アベノミックスの時とは全く異なる局所的バブルで、ソフトバンクGとアドバンテストを持っていなければ日経平均には全くついていけないという。とはいえTOPIXにさえ負けてるのは言い訳不能の下手っぷりですが、グロースは4%程度のマイナスでスタンダードでさえ微マイナスという終わりだったのですから、この成績でも大健闘なんですかね。わかりません。

振り返ると1週目は雇用統計がなく安泰だったものの明らかに総裁選待ちで、翌週からぶっ飛びスタート。大型中心に高市銘柄も大きく上昇。銀行株だけは冴えなかったですね。バリュエーションの切り上がりだけだと思ったので一度下げたところはめっちゃ怖かったですが、そこからはAI関連およびDCや防衛、造船系だけで走り切った感じだったかなと。

月初に信用でナブテスコを買って、総裁選後にケイアイスターと旧NISA保有だったオカダを売却してナブテスコを現引き、空いた信用枠で日米半導体ETFを後追いで買い。直後の下げで日本を切って米国に集約、ナスダックも追加し継続中。住友電工は3割程度上がっていて大成功なのですが、三井住友トラストとJR東はさっぱりという。これでも高市総裁誕生前から誰になってもインフレ継続を見込んだらうということですからそういうポートフォリオにしていたつもりだったんですが、ここまで温度差あるとは正直びっくりです。

運用コメント(2/2)

保有株ではテーマに沿った木村化工機が少し上がって、建設の日本アクアとダイダンはそこそこプラス、造船関係の中国塗料が目立って上がっただけで、それ以外はほぼ下落。優待口座は16銘柄中上がったのは楽天1銘柄だけという閑散っぷり。本当にひどい。

ついていけたのは相場の流れに応じて機動的に持ち株を入れ替えるトレーダータイプの人たちか、AI関連や造船方面に寄せたポートフォリオを組んでいた人たちだけで、分散された安定性の高いポートフォリオを持っていた中長期保有系の人たちはみんな一様に置いて行かれてる、というのがコンセンサス、というか実際そうならざるを得なかったよう。

保有株の決算が出始めていますがまだ見ていないのでコメントはなし。

しかし、この相場はどこまで行くんでしょうか…。上がれば上がるほどみんな苦しくなっていくのでまだ上がるような気もしますが、もうそろそろバリュエーションもいいところまで来ていますし、ほぼど上方修正多発してコンセンサスも上振れしてこない限りはもう終わりのような気もします。せいぜい崩れるときには直撃は食らわないようにしておきたいなーという感じです。

高市さんが政策をいろいろ掲げていますが野党の協力が得られないものはなかなか進まないだろうことを考えると、もう動き出しているもの以外に目新しいもの出てくるか懐疑的にならざるを得ない。特にガソリン暫定税率廃止はまだ代替財源手当てしてないですからね。これ以上給付増やすのは…。目先は決算見て数字がついてきている分野が中心になって、11月中旬以降は税制大綱関連のニュースに期待したいところ。

住宅ローン減税の要件改定が期待のメインで、人手不足対応のための設備投資関連の減税、インフラ更新や老朽建築物へのスクラップ&ビルドも税制面から応援してくれるといいんですが、それは期待しすぎですかね。

先導株の動きが落ち着いて出遅れに波及してくれるのが一番うれしいんですが、たぶん嬉しい人が多いだろうなので難しそうかな…。相場がいいうちに稼げるだけ稼ぐのが大正義ですから、音楽が鳴ってるうちはスポットライトが当たってないステージのはしっこでも根気強く踊ってられるようにしたい。来月も頑張りましょう。